

令和5年4月18日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後2時00分
閉会 午後4時13分

2 出席委員

神 先 宏 彰	教育長
北 村 真 也	教育長職務代理者
末 永 礼 子	委 員
出 藏 裕 子	委 員
陀 安 一 郎	委 員
秋 山 伸 夫	委 員
松 浦 千 弘	委 員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

森 岡 浩 之	教育部長
川 口 雅 彦	次長兼総括指導主事
阿比留 綾	教育総務課長
今 西 恵 一	学校教育課長
樋 口 竜 次	社会教育課長
宮 本 かおり	社会教育課人権教育担当課長
岡 田 康 宏	歴史文化財課長兼文化資料館長
岩 崎 盛 雄	学校給食センター所長
小 川 博 久	図書館長
谷 口 正 二	みらい教育リサーチセンター所長
中 川 秀 和	こども未来部長
原 田 啓 子	保育課長
橋 本 ちあき	保育課保育政策係長
榎 本 祐 輔	教育総務課総務係長

5 傍聴者

なし

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

令和5年3月22日に開催した定例会の会議録を確認し、承認した。また、3月22日及び4月3日に開催した臨時会の会議録を承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・市立学校の卒業式が行われた。
- ・中東和平プロジェクト in 亀岡実行委員会第2回会議に出席した。
- ・亀岡市立別院中学校閉校式に出席し、閉校事業として松本隆博氏のトーク&Liveを開催した。
- ・市議会定例会3月議会が閉会された。
- ・社会教育委員会議を開催し、委員に辞令を交付した。
- ・新規採用教職員オリエンテーションに出席し、挨拶と激励を行った。
- ・亀岡市デジタル文化資料館プロジェクト公開記者会見に出席し、メタバース空間を披露した。
- ・教育委員会委員を退任される福嶋委員と市長との面談に同席した。
- ・市職員の退職者を送る式に出席した。
- ・教育委員会委員として新任の松浦委員、再任の末永委員、出藏委員の市長からの任命辞令交付式に同席した。
- ・市職員異動者・新規採用職員辞令交付に出席した。
- ・臨時教育委員会を開催し、今年度の定例教育委員会の開催日程や令和5年度の年間計画（案）について協議した。
- ・校園長会議を開催し、今年度の学校経営について指示を行った。
- ・中東和平プロジェクト in 亀岡に出席した。
- ・市立小学校の入学式が挙行され、本梅小学校に参列し、告示を述べた。
- ・市立中学校・義務教育学校入学式、市立幼稚園入園式が挙行された。南桑中学校での入学式に参列し、告示を述べた。
- ・臨時教育委員会を開催し、亀岡市立学校教職員に対する懲戒の内申についての議案を議決した。
- ・令和5年度かめおか児童クラブ支援員の辞令交付式を行い、主任支援員18名、支援員48名に辞令をお渡しした。今年度から、土・日・祝日の開設も市内3カ所でスタートさせている。
- ・第50回亀岡光秀まつり第3回実行委員会に出席した。

◎国・府等の関係

- ・令和5年度府内市町（組合）教育委員会教育長会議に出席、各所管から今後の課題等の説明がなされた。
- ・当初京都府立公立学校長、幼稚園長会議が知事も出席されるなか開催され、市立学校長、園長とともに出席した。

(4) 議 事

議案番号	件 名
第 2 号 議 案	亀岡市立幼稚園条例の一部を改正する条例の原案決定について

○第2号議案について保育課長が議案説明を行った。

第2号議案は、亀岡市立幼稚園の設置や保育料等について定めた当該条例について、先般からの子どもファースト宣言に掲げる保育料第2子以降全て無料化の実現を図るため、今回改正をするものである。内容としては、第4条第4項を「同一世帯における2人目以降の預かり保育料を無料とする。」に改めるものである。施行日は、令和5年7月1日から施行し、令和5年4月1日からの適用を予定している。

○説明を受け、委員から次の意見があった。

出 藏 委 員 今回の改正内容は、保護者としてはたいへんありがたい提案であると感じている。同一世帯で年齢差がある場合でも適用されるということであり、条例可決後は、多くの人へ周知が図られ、多くの保護者が知り、少子化への歯止めのひとつになればと願う。

第2号議案について、原案どおり承認した。

(5) 報告事項

- ①亀岡市立の小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について
- ②亀岡市立の小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する府費負担教職員の安全衛生管理規程の一部改正について
- ③旧学校施設の使用に関する要綱の制定について
- ④学校規模適正化について
- ⑤令和4年度～確かな学力育成ビジョン～確かな学力を育む実践について
- ⑥亀岡市英語検定チャレンジ事業補助金交付要綱の一部改正について
- ⑦亀岡市修学旅行における平和学習補助金交付要綱の一部改正について
- ⑧令和5年度人権教育講座・人権教育指導者研修会の開催について
- ⑨亀岡市人権啓発推進協議会人権教育啓発指導員の委嘱について

- ⑩令和5年度かめおか児童クラブの開設状況について
- ⑪令和5年度5月教職員研修講座のお知らせについて
- ⑫令和5年度人型ロボット（Pepper）活用事業年間計画について
- ⑬サイエンスフレンズ天体観望会について

○各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<旧学校施設の使用に関する要綱の制定について>

陀安委員 今回の別院中学校の閉校とは直接的に関係はないが、先日畑野小学校の入学式に出席した際、地域の方とお話をする機会があったが、畑野小学校が閉校した後の学校の利活用について気にされていたので報告しておく。

教育長 まずは、令和6年4月に迫った義務教育学校開校に向け、教育委員会として最優先で取り組んでいく。市長部局を含め連携が必要と考えている。

末永委員 閉校や統合等によつての後の学校の利活用の問題は、非常に重要と考える。その際、今回の要綱にある屋内・屋外運動場の利用条件をこれまでと同様に整え、社会体育団体等で引き続き利用できるようにすることも大事な視点である。

<学校規模適正化について>

出藏委員 3月に西別院小学校の卒業式に出席をさせていただいた。東別院小学校も含め小規模特認校で通学していた児童たちの多くが南桑中学校に進学するとのことであった。引き続き、児童や保護者に寄り添っていただきながらの対応をお願いする。

末永委員 ピアノの移設や桜の木の移植など、ひとつひとつの想いを大切に引き継いでいくことが生徒、あるいは保護者、地域の方々にとっては何よりも重要だと思う。

北村職務代理者 初めての経験ではあったが、育親学園の設計に関してのプレゼンテーションに審査員として参加させていただいた。教育委員会側が一定提示した条件的なものもあるが、教育の中身も含めて触れられていて、どの参加企業も非常に興味深い内容であった。新しい建物で新しい教育の実践の場ができるわけである。楽しみである反面、教育の中身をしっかりと創っていかねばならないと気を引き締められた部分もある。また、1点伝えておきたいことがある。参加企業の中で、コンパクトというところに視点を置いた提案があった。個人的には、非常に大事な視点だと感じた。人口推計などは亀岡市に置き換えた

- 場合も試算しながら進めていかなければならないと思う。
- 陀安委員 プレゼンテーションの審査員のメンバーを改めて教えてほしい。
- 教育総務課長 京都芸術大学教授、京都府教育庁管理部管理課長、副市长、教育長職務代理者、まちづくり推進部長、財政課長、教育総務課長となっている。
- その他、育親学園の開校に向けた調整会議のメンバーにも自由に見ていただくようにした。また、当日は、調整会議のメンバーが審査員に意見を出すことができることとし、自由に記載いただいたものを、審査員が即時に共有するというを行った。調整会議のメンバーである関係者が実際にプレゼンテーションを見て育親学園をより身近に感じ、イメージを膨らませてほしいと考えている。
- 陀安委員 自分自身が現在の職場が建築された際、そういったことに関わり、議論をしてきた。今でもそういったことは覚えているので、いろんな人たちが、その過程に参画することは愛着を持って取り組んでいけると思うのでよいと感じる。
- <令和4年度～確かな学力育成ビジョン～確かな学力を育む実践について>
- 末永委員 令和4年度の取り組みがこのような1冊の冊子になったことの意義は大きい。この流れを受けて、しっかりと子どもたちの中でも、また教職員の間でも共有され、その都度評価し、軌道修正もしながら進めていかなければならない。課題を明確にすることで、この先に繋がっていくと思う。期待している。
- 松浦委員 学力に対する実態調査というものはされているのか。
- 次長兼総括指導主事 教科のテストはもちろんあるが、質問調査というような形で学習時間は何時間しているか、テレビは何分ぐらい見ているかなど、生活の実態を統計的にとっているものはある。
- 北村職務代理者 学力に関することについては、ここ1、2年かけて教育委員会でもかなり議論をしてきた。そういった議論が本来必要で、指導主事の方々を中心に積み上げてきていただいた成果だとも思っている。亀岡市には、今回のようなシステムの構築がこれまでになかった。システムはできたので、今年度は更に議論をしながら深めていくことが大事だと感じている。
- 秋山委員 亀岡市の学力は、現在、国及び府の平均を下回っている。保護者の立場からも残念なことである。システムが構築

できたことは素晴らしいことであり、よりよい形にしていかなければならないと思う。一方で、外部の視点とどうか、民間の視点もできる範囲で入れながら進めていくのが好ましいのではないか。

松 浦 委 員 自分自身がいた職場では、生徒が教職員を評価するということが行われていた。教職員の指導力が求められる昨今でもあり、教職員の研修を行いながら、一人ひとりの力量アップをしていく環境が必要であると感じる。

<亀岡市英語検定チャレンジ事業補助金交付要綱の一部改正について>

出 藏 委 員 制度としてより充実を図られており、よいと感じる。一方で生徒たちは学校から既に申込用紙が配付され、随時申込みできるようになっている。令和5年4月3日から施行であれば、学校及び生徒に制度の周知が十分行われるようお願いしたい。

<令和5年度かめおか児童クラブの開設状況について>

秋 山 委 員 支援員の任用確保の状況はどうか。
社会教育課長 現在、土・日・祝も含め、支援員及び補助員の協力のもと運営している。長期休業期間になると現在の任用者だけの運営は厳しいと考えており、早急に人材確保を行っていかなければならない。インターネットでの申込みも一定数あったことから、再度活用したいと考えている。また、高校生や若い世代へのアプローチも検討し、進めていきたい。

<令和5年度5月教職員研修講座のお知らせについて>

末 永 委 員 単級学校学年会の研修の取り組みがあるということにより感じている。研修、交流を通じて、孤立感が和らぐようなものになり、同時に指導力の向上に繋がっていく、というような形により発展していければよいと思う。

(6) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上

○教育長職務代理者

○委 員

○委 員

○委 員

○委 員

○委 員

○教 育 長

(調整者 教育総務課長)